

⑪花咲プロジェクト IN 吉里吉里 実施報告

(一社) 岩手県建築士会女性委員会 小山田サナエ

◇ 日時：2013年10月26日(土) 10:00~12:00

◇ 場所：吉里吉里中学校仮設住宅 70世帯 (プランター)
吉里吉里保育園 (花壇)

◇ 参加者 (敬称略)

住民の方・・・自治会長の東谷さんはじめ 12~3人

宮古支部・・・芳賀紀子

気仙支部・・・小松千佳子、小松綾子

盛岡支部・・・鈴木貴子、佐藤美香、大森典子、小山田サナエ

釜石支部・・・柏館旨緒、岩間正行、阿部智宏、鈴木秀樹

◇ 花苗：プランター1個につき、葉牡丹2個+ビオラパンジー3個+チューリップ球根2個



◇ 作業

会員については現地集合、住民の皆さんは10時前から集まってきた。作業開始後すぐに小雨が降ってきたが、全く苦にもせず作業続行。今回初めて、釜石支部の男性会員にも参加してもらい、士会組織の大切さを改めて感じた。

今回で6回目の訪問となり、住民の方々とも顔見知りとなってきた。また要領も得てきて、植え付けるプランターは予めきれいに片付けてもらっていたので、そのプランターのところを回って花のセットを置き、会員や住民の皆さんが植え付けた。80戸の仮設団地だが、公営住宅入居や自力再建などで退出したところもあり、70世帯分を用意し、作業は1時間ほどで終了。

保育園については、事前に、雨模様なので後日晴れてから自分たちでやります、との連絡を受けており、花苗を届けただけで作業は行なわなかった。



◇ お茶っこ休憩

11 時前から集会室をお借りして、皆でお茶っこ休憩。会員持参のお菓子・果物と集会室提供のお茶やコーヒーを頂く。

まずは、男性会員や初めて参加のメンバーもいるので、簡単な自己紹介。釜石支部の方の中には自身も家を流されて仮設住宅に入っている方もいた。

大槌出身の会員もいて、住民の方々のもと居住地の話になると、「あ～あそこね」と何でも知っており、地元の話で大いに盛り上がり、住民の皆さんはいつにも増して楽しそうだった。「どこかで見ただことがあるなあ～」と言っていたら、親戚筋と判明した方も。

前日の深夜に少し大きな地震と津波警報が出され、怖かった、眠いなどと言っていたが、「仮設住宅に入っていて、津波の心配が無いのはとても安心だった」という声に、沿岸の方々が負った傷の深さを改めて感じた。

気仙支部や宮古支部から参加のメンバーは、比較的に吉里吉里に近く、また住民の皆さんと同じく沿岸ということで、共通する話題もあり大いに話が弾んでいた。

皆、建築関係者であることから、住宅再建などについての話しも出てきて、良い情報交換になったと思う。

「来春また来て下さい。待っています。」嬉しい言葉で見送られての帰途となった。

